

令和元年度  
事業報告書

社会福祉法人 花木庭会  
障害者支援施設 鹿島療育園

## 目 次

I	基本理念	1
II	令和元年度基本方針	1
III	令和元年度事業目標	1
IV	概要	2
V	評議員会、理事会の開催状況	7
VI	行事実績(令和元年度)	9
VII	ボランティアの受入状況(令和元年度)	9
VIII	職員配置の状況	10
IX	利用者の状況	10
X	利用者の日課	12
X I	利用者の通院状況	12
X II	苦情解決	13
X III	事業報告の附属明細書	13

## I 基本理念

- 1 障害者の人権と尊厳を守り、自立と社会参加の支援を行う。
- 2 福祉事業を通じて地域社会の発展に貢献する。
- 3 ご利用者様、職員、法人の三者全ての安心と満足度を高める。

## II 令和元年度基本方針

- 1 ご利用者様へ、常に真心を込めて安心と安全を提供する。
- 2 地域との交流を活発にし、地域から必要とされる施設づくりを目指す。
- 3 職員の自己研鑽による能力アップに努める。
- 4 技術力の向上により、よりよいサービスに徹する。
- 5 社会的ルールの遵守(コンプライアンス)を徹底する。

## III 令和元年度事業目標

### 1 生活相談

- ① 利用者の人権尊重、権利擁護。
- ② 入所待機者の確保。
- ③ 相談支援事業を通じて地域社会へ貢献する。

### 2 生活支援

- ① 利用者の個人ニーズに応じた個別支援に取り組む。
- ② 職員としての質の向上。
  - ・利用者に寄り添い、相手の立場に立った思いやりのある言動を心がける。
  - ・技術の向上及び障害の特性に応じた心のサポートを学ぶ。
  - ・職員間の連携を図り、安心・安全な支援を提供する。

### 3 医療

- ① 各部署との連携。
- ② 早期発見、早期治療。

### 4 総務

- ① 職員研修によりスキルアップを図る。
- ② 防災訓練や行事等をとおして、地域とのつながりを密にする。
- ③ 安全運転の励行。
- ④ 情報管理の徹底に努める。

### 5 給食

- ① 衛生管理を重点的に行う。
- ② 利用者の個人ニーズに応じた栄養ケア支援に努める。
- ③ 調理技術の向上(高齢化、重度化対応)。

#### IV 概要

令和元年度は、花木庭会の法人運営においては、評議員会は3回開催され、役員改選、定款変更、決算報告、事業計画、収支予算など9議案について審議がなされた。

理事会は4回開催され、理事長等の選定、浴室増築工事や浴槽整備の契約、賞与引当金の計上、規程の改正など32議案について審議がなされた。

監事會は5月に定例監査が実施された。また、評議員会及び理事会へ出席された。

インターネットによる公表は、定款、役員名簿、評議員名簿、役員等報酬規程及び平成30年度決算書を当法人のホームページに掲載するとともに、現況報告書、計算書類等及び事業所情報を社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムに届出し情報公開をしている。

施設・設備の整備では、大浴槽から個別入浴への転換を図るため浴室増築工事を行った。浴室の設備としては、車いす介護浴槽2台と寝位介護浴槽1台を導入し、天井走行リフトはルームカバーリングシステムを導入し脱衣室内を自由に移動できるように整備した。

なお、新しい介護浴槽3台と天井走行リフトは、公益財団法人JKAの助成、佐賀県共同募金会赤い羽根共同募金の配分、指定寄付金及び佐賀労働局人材確保等支援助成金を受け整備することができた。

また、車いす使用者用駐車場の整備や車いす等が落ちないような溝蓋への取替を佐賀県福祉のまちづくり条例に準拠して整備した。

その他、平成2年に整備した緊急通報サイレンや平成3年に整備した衣類乾燥機が修理不能となり更新を行った。

入浴については、以前は午後の時間帯に大浴槽で全員の入浴を済ませていたが、工事後は3台の介護浴槽による個浴となり全員が入浴をするのに、午前、午後を使っても2日間を要するようになったため、個々の入浴回数は週3回から週2回へと減少した。

しかし、入浴の回数は減少したものの、個々の入浴についてはマンツーマンでの介助が実現しており、利用者からも好評を得ている。特に湯船に一人でゆっくり入ることができる喜びの声が多数聞かれ充実した入浴支援ができている。また、入浴の支援をしている職員は、移動・移乗時に抱える動作が減少し腰痛等の負担の軽減につながっている。

職員配置の状況では、育児休業や退職等により、年間の平均配置数が44.5人と前年度より1.8人の減少となったが、生活支援員の平均配置数は28.0人と前年度とほぼ同数であったため、年間を通して生活支援員等の配置職員数は概ねクリアすることができた。

年度内に看護師2人、生活支援員2人の新規採用を行ったものの、ともに1人ずつは短期間での退職となったが、全職員のチームワークにより利用者へのサービス提供を行うことができた。

利用者へのよりよいサービスを提供するためには、職員の資質の向上が欠かせないものとなるため、施設内研修を定期的に開催してきた。施設外での研修会には職員配置の関係上参加できないときもあったが、できる限り参加させスキルの向上に努めてきた。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2月までの感染症予防対策期間を延長し、マスクの着用、手洗い、消毒、換気の徹底を行うとともに、職員の出勤時の体温測定、外出を伴う行事の中止、利用者の外出の自粛や面会禁止の措置をとった。

## 1 生活相談

利用者の権利擁護、人権尊重の観点から日々の支援において課題が見つかった時点で速やかに改善に努めた。

利用者は重度化の傾向にあり、介護の度合いが高くなった利用者については、障害支援区分も高くなり、きめ細やかなサービスが必要となり、支援内容を変更することがあった。

個別支援計画におけるサービス提供は、月ごとの実績表や中間評価表で、計画のモニタリングを行い、サービスの質の向上に努めた。

入所待機者については、行政機関や医療機関等との連携を図り、入所待機者の確保に努め、年度末での待機者は4人増の19人となった。

入所利用者は、年度内に入退所共に1人ずつとなり、前年度末のまま46人であった。定員は50人であるが、生活支援員等の不足に伴い、利用者への支援に支障をきたさないための措置であった。

## 2 計画相談

相談支援センター鹿島療育園では、指定特定計画相談事業を実施してきた。

市町より依頼があった計画相談については、速やかに対応し、令和元年度中に策定したサービス等利用計画は入所者22件、在宅者28件の合計50件であり、その内、新規での利用計画策定は1件であった。障害種別では身体障害者37人、知的障害者2人、精神障害者11人であった。

また、利用計画に沿ってサービスが適切に提供されていることを定期的に確認するモニタリング（継続サービス利用支援）は115件で前年度より27件の増加となった。なお、障害児サービス等利用計画の策定実績はなかった。

## 3 生活支援

延べ利用者数は16,409人で前年度の17,013人から大幅に減少した。

これは、生活支援員の不足により利用者へのサービスの低下が生じないよう前年度末の利用者数46人のままとしたためで、稼働率は86.2%となった。

事業目標である利用者の個人ニーズに応じた個別支援への取り組みについては、利用者の主体性を尊重し、個人やその家族が望まれている目標を個別支援計画に反映し日々の生活の中で取り組んでいる。個人のニーズに応じるためには計画上ののみの支援ではなく、利用者の小さな思いにも耳を傾け、常に情報の共有を継続している。現状に課題点が見つかれば振り返り、改善、その後の対応策へと繋げて支援の充実を図ってきた。

職員の質の向上については、利用者の高齢化・重度化が進む中、生活支援員の中に認定特定行為従事者（喀痰吸引研修課程修了者）が現在5人在籍し、医療的ケアが求められる支援への対応にも安心を得られてきた。

これからも、利用者に寄り添うことで安心を得ていただけるよう、言葉を超えた支援を提供していきたい。

## 4 生活介護（日中のみ）

年間の延べ利用者数は526人で前年度の734人から208人減少し、一日当たりの利用者数の平均は、2.0人となり、定員4人での稼働率は48.9%となった。これは、新規利用者が2名あったものの、年度初めに利用日数が多い利用者が施設入所になられたり、介護保険適用になられたことにより減少したものである。

通所利用者の支援においては、入所利用者とほぼ同じ条件のもとで支援を展開し、ご本人、

ご家族のニーズに応じた個別支援計画を策定し、サービスの向上に努めてきた。

ご家族とは送迎のわずかな時間に顔を合わせ、言葉を交わすことによって情報が共有され、信頼関係が構築されていたことにより、緊急時の対応も理解と協力を得ることができた。

## 5 短期入所

年度内の利用者の実人員は5人であった。年度内に入所と介護保険適用のため、2人減少したが、介護者の負担軽減等を目的として毎月継続して利用される利用者が増えたため、年間の延べ利用者数は327人と前年度の205人から122人増加した。

個別支援計画の策定は必要ないものの、利用者の希望される支援については、主体性を尊重した支援を行った。

## 6 機能回復訓練

現状の身体機能、生活能力を維持し日常の生活を営むための訓練として、医師及び作業療法士の指示を受け、個別支援計画への取り組みへと繋げ、訓練の継続により日常生活がより豊かなものになるように取り組んでいる。

訓練の実施状況は、職員数が少ないときでもグループを小規模化することや、居室にて行事により、訓練が実施できるような環境を確保するように努めた。

今後も参加率の向上を目標に利用者の健康維持、機能維持に努めていきたい。

## 7 サークル活動

### ○ 手芸サークル

外部講師による押し花を年8回（3月はコロナウイルス感染症防止のため中止）、職員による手芸を年4回実施した。

押し花は毎回数名の見学者と11名程の参加がある。

講師や職員の介助を受けつつ四季折々の押し花を使い、希望に沿った様々な作品を制作、完成された作品を手に取りとても満足そうにされている様子が伺えた。作品は園内での展示や作品展への出展も行っている。

手芸については、手持ちのスキルスクリーンや共同作品としてのスキルスクリーンの制作に取り組まれた。3、4名のほぼ固定した利用者の方が参加されており、余暇時間の充実に取り組むことができた。

### ○ 音楽・カラオケサークル

月1回の外部講師による音楽サークルでは、四季をテーマとした曲や利用者のリクエストによる曲をピアノで演奏してもらい、参加者全員で歌うことにより歌うことの楽しさを感じられている。毎回18名程の利用者が参加されている。3月はコロナウイルス感染症防止のため中止した。

カラオケサークルは月に2回の活動であり、歌う事が好きな利用者の参加で、通所利用者・短期入所利用者の参加もあり、毎回16名程の利用者が参加されている。

好きな歌を歌ったり、他の利用者の歌に合わせて手拍子をしたり、口ずさんだりするなど和やかな雰囲気の中で実施できている。

### ○ 囲碁・将棋サークル

毎月1回地域ボランティアの方達により活動が行われている。興味のある利用者に限定されているため参加者は限られるものの、通所利用者や短期入所利用の方にも参加の声かけを行い、囲碁や将棋ができる利用者でも「はさみ将棋」等に参加したり見学したり、楽し

い時間を過ごされている。3月はコロナウイルス感染症防止のため中止した。

#### ○園芸サークル

運動広場周辺の花壇は、車椅子での作業ができるように高めになっているため、興味のある利用者が一緒に花や球根の植え込みや除草等にも参加され、「癒しの場」の提供に取り組むことができた。四季折々の花が園庭を散歩される利用者や来園者の目を楽しませてくれている。

また、園の畠では、なすやジャガイモ等の収穫を行い、給食の献立に取り入れ利用者の皆さんに食べていただいた。

天候の影響や業務の都合によりサークル活動予定日に実施できない時は、業務の調整を図りながら実施した。

#### ○生活サークル

ゲームやレクリエーション、歌、習字、絵、朗読等毎回違った内容で実施した。

毎回 16 名程の利用者が参加されている。年々、意欲的に参加される利用者が少なくなってきたているが、参加された利用者からは「楽しかったよ」の声も聞かれる。

習字、絵等の作品や季節感を取り入れた共同作品については廊下に掲示し、来園者に鑑賞していただいている。12月の忘年会の出し物には、楽しく参加されている利用者が多く、衣装を着て歌の披露を行った。

利用者間での交流や職員との関わりの中での会話を楽しみながら、サークル活動が進められた。

#### ○編集サークル

年 4 回発行している「はなこば新聞」では、利用者の生活状況や行事等の様子、ボランティアとの交流の様子、利用者の感想等をご家族や関係団体等にお知らせすることができた。より良い「はなこば新聞」になるよう、担当職員や利用者が役割分担しコミュニケーションを図りながら取り組んだ。

#### ○レクリエーション・余暇活動

レクリエーションは、3か月ごと(5月・8月・11月・2月)に実施し、毎回 20 名程の利用者が参加された。クイズや体操・ゲームなど様々な内容で、参加された利用者からも「楽しかった」との声が聞かれている。普段出さないような大きな声を出したり、体を動かしたりされ楽しんで参加されている様子が伺えた。集団で取り組むことで利用者間の交流に繋がり、また利用者と職員のコミュニケーションの場にもなっている。

障害を考慮した活動内容を計画することで、職員のレクリエーションの技術、進行の話術を学ぶことができ、スキルアップにも繋がっている。

参加される利用者が固定化してきているため、見学という形からでも参加していただけるように働きかけをしていきたい。

余暇活動は、2 か月毎(偶数月)に実施し、園の行事のビデオや映画の D V D 鑑賞などを行ってきた。毎回 20 名前後の利用者が参加されている。

#### ○フラワーアレンジを楽しむ会

元職員 3 人のボランティアで、年 3 回(4月・6月・12月)のフラワーアレンジを実施し毎回 20 名前後の利用者が参加された。

花材は購入品の他、当園の花壇から摘んだ花や、講師や職員の持ち寄りの協力もあって、参加利用者の自由な作品制作の後押しをしている。参加されている利用者の方達も講師が元職員ということで、会話もはずみ、次回の開催を心待ちにされていた。

今後も元職員の協力を得ながら、利用者に楽しい時間を提供していきたい。

## 8 苦情相談

苦情は、毎月行われている利用者懇談会で2件、随時の申し出が6件で合わせて8件となった。内容別では、職員の配慮不足など職員に関することが6件、利用者間の対人トラブルによる利用者に関することが2件であった。

苦情については、概ねその場で回答し、検討が必要なものについては翌月の利用者懇談会において回答を行った。

今後も苦情について傾聴し、速やかな解決策が望まれる。また、福祉サービス従事者としての更なる職員の資質の向上が求められる。利用者間の苦情については相互理解が必要であり、苦情が軽減するような職員の支援も必要と思われる。

## 9 医療

利用者の延入院日数は、411日で前年度の758日から大きく減少した。これは1月以上の入院者が前年度の9人から2人へと大きく減少したことによるものと考えられる。しかし、その内の1名は、内服薬の調整のため200日を越す長期入院が必要となった。また、死亡による退所者は1名であった。

通院は、年間842人で前年度より57人減少した。内訳は訪問歯科が325人と一番多く、次いで外科、泌尿器科、内科が続き、通院に多大の時間を要している状況であり、既往歴で再発する病名では、褥瘡、腎臓疾患、皮膚疾患が多くあった。また、精神疾患による通院者は10人を数え、うち2人は医療保護入院となった。

11月から2月までの期間を感染症予防対策期間として取り組み、手洗い・消毒・換気・加湿を行い、利用者は外出時、受診時、職員は勤務時にマスクの着用を行った。また、新型コロナウイルス感染症が国内・県内でも発症したため防止対策として期間を延長した。

なお、手洗い・消毒・換気は継続中。利用者や職員の施設内での感染に至ることはなかった。

障害の重度化に伴い、発症から悪化するまでのペースも早く、また、本人の訴えも乏しいこともあり、日頃の様子との比較や、健康チェックを行うことで、速やかに対応した。

協力病院として犬塚病院、納富病院、織田病院、嬉野温泉病院へお願いすることが多いが、病院では、コミュニケーションがとりにくく、また、介護の度合いで通院治療となるケースも見受けられた。

今後も、嘱託医や他職種間との連携を密に利用者への支援を行っていきたい。

## 10 給食

利用者の高齢化・重度化傾向により、よりきめ細やかなサポートが必要となる中で、医療・生活支援・給食が連携して一人ひとりに応じた食事形態で提供し、特に低栄養状態の方には栄養ケアマネジメントを策定し、生活機能の維持改善の支援を行った。

食事形態では、主食は、普通・二炊き・二炊きミキサー・全粥・全粥ミキサー食の5段階とし、副食の切り方は、普通・小刻み・ミキサー食に分けて提供した。

また、療養食として低脂肪食・減塩食・減塩低脂肪食・糖尿病食に取り組み、利用者個々人の身体状況に合った食事内容で提供した。食事提供数は、全利用者合わせて、年間49,985食で、毎食の平均では45.5食となった。

嗜好調査や給食座談会を毎年行い、調査結果を基に主食、主菜で嫌いな食材やアレルギー食品は、代替食にて提供することで、満足度を上げ、食事摂取量向上につなげ、体力維持・機能低下防止に努めてきた。また、限られた予算内で季節の物や手作りデザートを提供し、利用者からも好評を得ている。楽しんで食べてもらえるように、調理員と栄養士で工夫と改善を重ね

研鑽を積んできた結果、残菜が少なくなっている。

安全面では「食中毒防止」「異物混入防止」等の衛生管理を徹底し、手洗い消毒と生野菜の処理、機械器具のアルコール消毒等の基本的対応を最重要ポイントとしてあげ、冬だけでなく夏場にも発生するようになった「ノロウイルス防止」など、1年間を通じて「食中毒防止」、「ウイルスの感染予防」に努めることで、衛生管理の目標を達成し、安全・安心に食事摂取をしてもらうことができた。

## 11 防災

防災訓練は、職員が火災時に必要な初期行動及び利用者の安全な避難ができるよう毎月1回実施してきた。夜間は勤務する職員が3人となり、特に職員間の連携が求められるため、より速やかで安全な避難誘導が実施できるよう、訓練を重ねてきた。年間で、夜間を想定しての訓練を11回実施し、1回は昼間を想定しての訓練を行った。また、10月には鹿島消防署、鹿島市消防団などの関係機関及び近隣地域の協力を受けながら総合防災訓練を実施した。

全職員を対象とした夜間の招集訓練は9月に実施した。電話連絡網及び一斉メールにて伝達し、訓練開始後20分以内に約半数にあたる25人が登園した。招集訓練を行うことで、施設の非常時には駆けつけるといった意識づけにも繋がっている。

利用者の方も加齢等による身体機能の低下がみられ、重度化が進んでいる。殆どの利用者が避難誘導の際に何らかの支援を必要とする方であり、今年度実施した防災訓練での避難誘導時間は、平均で13分46秒を要した。車いすに移乗せずにベッドでの避難が有効な利用者は臥床したままでの誘導とし、その結果、速やかな避難誘導が実施できている。

## V 評議員会、理事会の開催状況

### <評議員会>

#### 第1回

開催日	令和元年06月17日
議案	平成30年度決算報告書(貸借対照表、収支計算書及び財産目録)(案)の承認について 令和元年度鹿島療育園拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 役員の任期満了による改選について

#### 第2回

開催日	令和元年09月24日
議案	令和元年度鹿島療育園拠点区分第2次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について

#### 第3回

開催日	令和2年03月26日
議案	令和元年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 令和元年度鹿島療育園拠点区分第3次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 定款変更(案)の承認について 令和2年度事業計画書(案)の承認について 令和2年度資金収支予算内訳表(案)の承認について

<理事会>

第1回

開催日	令和元年05月30日
議案	平成30年度事業報告書(案)の承認について 平成30年度決算報告書(貸借対照表、収支計算書、貸借対照表・収支計算書の附属明細書及び財産目録)(案)の承認について 社会福祉法人花木庭会理事長専決規程の改正(案)の承認について 社会福祉法人花木庭会事務委任規程の改正(案)の承認について 預り金規程の改正(案)の承認について 公益財団法人JKAからの補助金交付の受諾の承認について 佐賀県共同募金会からの配分事業の配分決定の承認について 佐賀県共同募金会からの指定寄附金の受入の承認について 令和元年度鹿島療育園拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 鹿島療育園浴室増築工事に係る入札(案)の承認について 役員の任期満了による改選について 定時評議員会の開催(案)の承認について

第2回

開催日	令和元年06月17日
議案	理事長の選定について 業務執行理事の選定について 第三者委員の選任(案)の承認について 寝位介護浴槽整備に係る入札(案)の承認について 車椅子介護浴槽整備に係る随意契約(案)の承認について 車椅子介護浴槽及び天井走行リフト整備に係る随意契約(案)の承認について

第3回

開催日	令和元年08月20日
議案	給与規程改正(案)の承認について 就業規則改正(案)の承認について 令和元年度鹿島療育園拠点区分第2次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 評議員会の開催(案)の承認について

第4回

開催日	令和2年03月18日
議案	令和元年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 令和元年度鹿島療育園拠点区分第3次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 賞与引当金の計上(案)の承認について 定款変更(案)の承認について 職員推薦紹介制度規程の制定(案)の承認について 就業規則の改正(案)の承認について 令和2年度事業計画書(案)の承認について 令和2年度資金収支予算内訳表(案)の承認について 鹿島療育園清掃業務委託に係る随意契約(案)の承認について 評議員会の開催(案)の承認について

## VI 行事実績（令和元年度）

月　日	行　事　名	摘　要
4月 11日	利用者健康診断	血液検査、心電図、前立腺がん検査、胸部レントゲン
5月 5日	家族会総会	事業報告・計画等
4月 23日～2月 12日	ふれあい旅行	佐賀市 年6回
6月 7日	地域との交流会	
6月 12日	安全祈願祭	安全祈願
6月 28日	能古見小学校（5年生）との交流会	概要説明、見学
7月 31日	介護者教室	ノーリフトケアについて
8月 9日～8月 16日	夏季帰省	帰省者9人
9月 2日～9月 6日	介護等体験	コミュニケーション、食事介助等
9月 5日	秋祭り	地域、家族等との交流
9月 26日	敬老会	
10月 7日～10月 15日	利用者健康診断	尿検査
10月 10日	園内運動会	家族、ボランティア参加
10月 27日	三嶽神社獅子舞披露	
10月 31日	ことじ保育園との交流会	獅子舞・剣遣い
11月 6日	能古見保育園との交流会	園児遊戯等
11月 16日	瑠璃光苑家族会視察研修	概要説明、見学
11月 27日	福祉講演会	講演「おじょうさんが教える、なかよく生きるコツ」
11月 29日	追悼会	物故者の供養
12月 3日	明倫小学校との交流会	踊り、合唱、ボウリング等
12月 12日	忘年会	
12月 14日～12月 22日	第19回佐賀県障害者文化芸術作品展	作品11点出展
12月 28日～1月 6日	冬季帰省	帰省者8人
1月 10日～2月 13日	初詣	鹿島市（祐徳稻荷神社）
2月 10日	ボランティア団体等との交流会	鹿島療育園ボランティア実績・計画等

## VII ボランティアの受入状況（令和元年度）

月　日	団　体　名	摘　要
随时（年10回）	囲碁将棋	囲碁将棋の対局
随时（年8回）	押し花	押し花の作製支援
随时（年5回）	鹿島市婦人ボランティア五五会	おむつ作り、行事協力
随时（年3回）	フラワーアレンジを楽しむ会	フラワーアレンジメント
随时（年3回）	地域活動体験学習「やってみよう」	車椅子清掃、施設内清掃
随时（年2回）	鹿島PHP友の会	カラオケ披露、合唱等
4月 11日	藤生会	踊り、写真撮影
5月 23日・9月 26日	職員のボランティア活動	地域の清掃（除草作業・ゴミ拾い）
6月 1日	釜山外国語大学校生	車椅子清掃、写真撮影
6月 2日	TPMバンド演奏	演奏披露
6月 25日	大正琴振興会（桜樹会）	大正琴演奏
7月 22日	楠風会さくら会	尿器用布巾作製
10月 27日	鹿島市視覚障害者福祉協会	マッサージ

## VIII 職員配置の状況

区分		施設長	事務長	生活相談員	看護師	生活支援員	事務員	栄養士	調理員	合計
平成30年度末職員数		1人	1人	3人	2人	30人	3人	3人	4人	47人
うち、臨時職員					(1人)	(6人)				(7人)
期中	増加数	0人	0人	0人	2人	2人	0人	0人	1人	5人
	うち、臨時職員								(1人)	(1人)
	減少数	0人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	1人	3人
うち、臨時職員										(0人)
令和元年度末職員数		1人	1人	3人	3人	31人	3人	3人	4人	49人
うち、臨時職員					(1人)	(6人)			(1人)	(8人)

## IX 利用者の状況

### 【入所者】

#### (1) 出身地別利用状況(令和元年度)

区分	佐賀市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	嬉野市	玄海町	有田町	大町町	江北町	白石町	太良町	大村市	波佐見町	合計
男	3人	0人	5人	6人	1人	5人	1人	1人 ①	1人	1人	1人	1人	1人	0人	27人 ①
女	0人	1人	2人	5人	0人	4人	0人	1人	0人	1人	2人	2人	0人	1人	19人
計	3人	1人	7人	11人	1人	9人	1人	2人 ①	1人	2人	3人	3人	1人	1人	46人 ①

※○印は退園者数

#### (2) 月別在園者の状況(令和元年度)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月初利用者数		46人	45人	46人										
入園者数		0人	1人	0人	1人									
退園者数		1人	0人	1人										
月末利用者数		45人	46人											

#### (3) 年齢構成表

令和2年3月31日現在

区分	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	65歳	70歳以上	合計	最小	最大	平均
分	19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	64歳	69歳					
男	0人	0人	0人	2人	7人	5人	7人	6人	27人	45才	80才	63.2才
女	0人	0人	1人	2人	4人	4人	4人	4人	19人	35才	88才	62.5才
計	0人	0人	1人	4人	11人	9人	11人	10人	46人			62.9才

(4) 在所期間の状況

性別	期間	1年未満	3年以上	5年以上	10年以上	15年以上	計	1人当たり 平均 在所期間
		3年未満	5年未満	10年未満	15年未満			
男	0人	2人	1人	8人	5人	11人	27人	16年 4月
女	1人	0人	3人	5人	3人	7人	19人	14年 6月
計	1人	2人	4人	13人	8人	18人	46人	15年 7月

(5) 障害原因別

障害原因	事故				疾病				合計 ① + ②
	交通事故	労働災害	その他の事故	小計	先天性の疾患	後天性の疾患	小計		
	①	②	①	②	①	②	①		
男	3	1	5	9	9	9	18	27	
女	1	0	0	1	15	3	18	19	
計	4	1	5	10	24	12	36	46	

(6) 病症類別

属性	疾病・原疾患	主たる病症類・原疾患									
		脳性マヒ	脊髄損傷	脊髄マヒ	脳血管障害後遺症	頭部外傷後遺症	リウマチ	その他難病	その他の疾患	合計	
		頸髄損傷	胸腰髄損傷	小計	マヒ	チ	チ	病	計		
性別	男性	8	4	1	5	0	4	3	0	2	27
	女性	11	1	0	1	0	1	0	0	0	19
	合計	19	5	1	6	0	5	3	0	2	46
障害支援区分	区分6	15	5	1	6	0	4	2	0	0	32
	区分5	2	0	0	0	0	0	1	0	2	6
	区分4	2	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	19	5	1	6	0	5	3	0	2	46

【通所者】

(1) 出身地別利用状況

区分	鹿島市	白石町	太良町
男	4人	1人	0人
女	1人	1人	1人
計	5人	2人	1人

【短期入所者】

(1) 出身地別利用契約状況

区分	鹿島市	白石町	太良町
男	5人	0人	0人
女	1人	1人	1人
計	6人	1人	1人

## X 利用者の日課

7:00	起床・洗面
8:15	朝食
	健康チェック
	整理整頓
	ラジオ体操
10:00	機能回復訓練
12:00	昼食
14:00	自由時間
	余暇利用
	入浴
17:15	夕食
	自由時間
	娯楽時間
20:00	就寝準備
21:30	消灯

## X I 利用者の通院状況

	内 科	外 科	精 神 科	眼 科	耳 鼻 科	訪 問 歯 科	皮 膚 科	婦 人 科	泌 尿 器 科	そ の 他	計
4月	7人	19人	5人	1人	0人	31人	1人	0人	14人	1人	79人
5月	4人	13人	3人	2人	0人	31人	4人	2人	11人	1人	71人
6月	7人	9人	3人	1人	1人	19人	1人	0人	9人	0人	50人
7月	6人	19人	4人	0人	0人	33人	11人	1人	11人	0人	85人
8月	7人	12人	3人	2人	0人	33人	4人	2人	12人	0人	75人
9月	4人	11人	4人	1人	2人	31人	5人	0人	13人	0人	71人
10月	10人	12人	3人	1人	0人	24人	6人	0人	13人	1人	70人
11月	13人	16人	2人	1人	0人	23人	2人	0人	8人	0人	65人
12月	13人	14人	2人	3人	1人	20人	4人	0人	11人	0人	68人
1月	10人	16人	2人	1人	0人	23人	1人	0人	11人	2人	66人
2月	8人	8人	6人	3人	1人	15人	1人	0人	18人	0人	60人
3月	7人	12人	3人	1人	0人	42人	4人	0人	13人	0人	82人
計	96人	161人	40人	17人	5人	325人	44人	5人	144人	5人	842人

## X II 苦情解決

苦情受付件数

	職員に關すること	利用者に 關すること	施設に關 すること	その他	計
平成31年 4月	2	0	0	0	2
令和元年 5月	2	0	0	0	2
6月	1	0	0	0	1
7月	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0
11月	0	1	0	0	1
12月	1	0	0	0	1
2年 1月	0	0	0	0	0
2月	0	1	0	0	1
3月	0	0	0	0	0
計	6	2	0	0	8

## X III 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。